

2014年10月定例観察会 報告書

六甲自然案内人の会 2班 文責 岡 弘

1. 概要

- (1) 実施日 2014年10月11日(土) 9:00~15:00
- (2) コース 護国神社前(集合)→杣谷入口→カスケードバレイ→杣谷峠
→アゴニー坂→摩耶山掬星台
- (3) ポイント 溪流沿いの巨岩や滝の道を登って秋の六甲山の樹木や花を楽しむ
- (4) 参加者 23名(ビジター)+27名(会員)=50名
- (5) 配布資料 コースマップ

2. 準備・実施

下 見 1月12日 8月3日 8月30日 9月6日

自主研修会 10月4日

説明担当 ビジター対応

1班 苅谷・岡 2班 竹岡・松本(ホト) 3班 近藤・武川(ホト)

会員対応 柏堂

3. 観察記録

- (1) 9:00 護国神社集合 準備体操 杣谷・徳川道の由来(柏堂さんの話) 9:45 出発
→11:48 滝

〈杣谷の杣の由来〉

木を切り出す仕事を生業としていた人たちのことを杣(そま)と言った。

〈徳川道の由来〉

慶応3年(1867年)に開通した、西国街道の迂回路。兵庫港が開港されたことにより、外国人との不都合な接触を恐れた幕府が作ったため徳川道の名がある。明治となって当初の目的では使われなくなった。その後外国人が別荘地へのハイキング・ゴルフ場への道として活用し、日本人も利用するようになった。

全長34km。1970年代に神戸市が整備したハイキングコース「太陽と緑の道」はこの徳川道をベースにしている。



柏堂さん 徳川道の由來說明

〈植物観察〉

アオツツラフジ (実がアンモナイトみたい) →トキワツユクサ→ノコンギク
→エビヅルとノブドウの違い (食せる・食せない) →ヨウシュヤマゴボウ
→マルバアオダモ→クマノミズキ→ボントクタデ→ヤマアジサイ→ヒヨドリジョウゴ
→トキリマメ→ヤブタバコ→シュウブソウ→ボタンヅル→センニンソウ
→エノキとムクノキの違い→クコ→カゴノキとヤブニッケイ (クスノキ科) の違い
→ヒサカキ→テイカカズラの実→ヌルデと虫こぶ→アキノタムラソウ
→カラスザンショウ



ダイモンジソウ



アケビ

昔はヌルデの虫こぶでお歯黒 その実演



虫こぶの液とお歯黒水 (酸化第一鉄) を混ぜると
たちまち真っ黒 (タンニン酸第二鉄) に
しかしどなたもつけてみようとは言われなかった。

〈エノキとムクノキの違い〉

ムクノキの葉はザラザラで10円玉を磨いてみるとピッカピカ
エノキの樹皮は横しわ、ムクノキは縦しわ

(2) 11:48 滝→12:00 昼食→13:00 杣谷峠

〈植物観察〉

リンボク→イヌガヤ→アクシバ→スノキ→ヤブコウジ→ヤマハゼ→ガマズミ
→ミカエリソウ→アケボノソウ→ムラサキシキブとヤブムラサキの違い
→エンコウカエデ→イワガラミ→ヌルデ



ビロードのようなヤブムラサキの星状毛

(3) 13:10 杣谷峠→アゴニー坂→14:30 掬星台

〈植物観察〉

カラスウリ→ツリバナ→ナギナタコウジュ→カキドオシ→ゲンノショウコ
→ヤマジノホトトギス→ガンクビソウ→ツリバナ→アカガシ→シラキ→シソバタツナミ
→ツルグミ・アキグミ・ナワシログミの違い（葉裏の色、手触り）

4. 感想

- ・ 由緒ある徳川道で堰堤を迂回するカスケードバレイ、顎が膝につくぐらい急な坂のあるアゴニー坂と、健脚向きのコースであった。また、ところどころ滑りやすい所もあり、要注意のコースでもある。下見の時（8月）は、皆暑くばて気味のコースであった。しかし、当日は少し気温が低かったこともあり無事クリアできた。健脚向きのコースであったが、思いの外参加者が多く、川沿いならではの植生・川・滝と変化に富んだコースを観察しながら楽しんでいただけた。
- ・ 登山口から杣谷堰堤・滝・摩耶砂防ダムまでは比較的緩やかな登り、昼食後階段が続き鎖場も一か所あり注意を要した。杣谷峠からは少しドライブウエーを歩き、アゴニー坂の登りで紅葉しかけのシラキの群落を過ぎ摩耶山頂掬星台に到着した。
- ・ リンボクが多くその花を期待したが残念ながら2週間前ぐらいが盛りであった。
- ・ 特に秋の山野草、川沿いの花が好評だった。
- ・ トイレは杣谷峠と掬星台にあり、不都合なし。